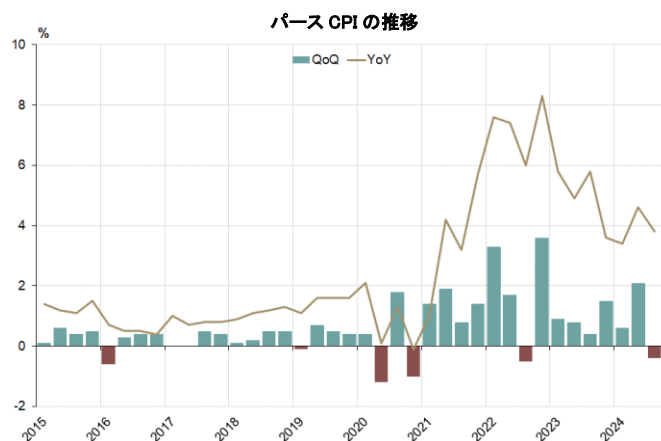


西オーストラリア州関連データハイライト

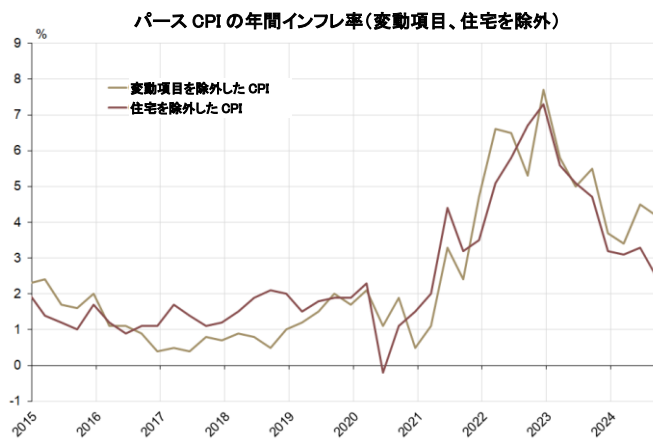
- パース CPI は第3四半期に0.4%下落したが、通年では3.8%上昇となった。
- 西オーストラリア州の小売売上高は第3四半期に0.9%増加し、全州で最も高い伸びとなった。
- 西オーストラリア州の失業率は9月に3.6%へ低下し、全州で最も低いレベルとなった。
- 西オーストラリア州の新規住宅承認件数は9月に11.4%増加し、通年で73.0%増となった。

2024年度第3四半期のパース CPI

- パース CPI は2024年度第3四半期に0.4%下落したが、これは西オーストラリア州政府が開始した新たな家庭向け電力料金補助に起因する電気代自己負担額の56.3%減、および連邦政府による電力料金救済基金制度導入によるものであった。
- 電気代の減少以外で同四半期のパース CPI 下落に大きく寄与したのが自動車燃料で、同四半期に価格は4.7%下落した。これを部分的に相殺したのが持ち家所有者による新築住宅購入コスト(3.9%)、家賃(2.7%)、不動産価格・使用手数料(4.7%)、休暇利用外国人観光客の移動・宿泊(2.8%)の増加だった。
- パース CPI の年間インフレ率は0.8ポイント下落して3.8%となり、依然としてRBAの目標レンジ2-3%を上回っているが、2022年度第4四半期に過去最高となった8.3%を4.5ポイント下回っている。
- 過去1年間のパース CPI のインフレの主因となっているのが住宅費で、持ち家所有者による新築住宅購入コストは前年比19.1%増、家賃は前年比10.0%増となっている。これらの増加を相殺した最大の要因が、電気代の前年比19.2%減を招いた電力料金補助であった。住宅を除外したCPIの年間インフレ率は2.5%に下落し、2021年度第1四半期以来最も低いレベルとなった。
- 基調的なインフレ指標は依然として全体のインフレ率を上回っている。変動項目を除外したパース CPI の年間インフレ率は0.3ポイント下落したが、依然として4.2%という高いレベルにある。食品とエネルギーを除外したコアインフレ率は0.1ポイント上昇して4.9%となり、2023年度第2四半期以来最も高いレベルとなった。
- サービス価格のインフレ率は0.1ポイント上昇して過去1年間で最も高い4.5%に達した一方、物品価格のインフレ率は3.1%に下落した。非貿易財価格の伸び(5.7%)は、依然として貿易財価格の伸び(0.5%)を大幅に上回っている。



出典：Australian Bureau of Statistics



オーストラリア金利(%)			FX and Equities		
RBA 政策金利目標	4.35	(0 pt)	AUD/USD	0.6582	(↓4.8%)
90日銀行手形	4.42	(↓2 pt)	AUD/JPY	100.07	(↑0.8%)
連邦政府3年国債	4.02	(↑48 pt)			
連邦政府10年国債	4.50	(↑53 pt)	ASX200	8160	(↓110 pt)

市場概況

- 10月にはRBA理事会は開催されなかった。
- 10月のオーストラリア国債利回りは世界の債券利回りと共に上昇した。米国の債券利回り上昇を招いたのは、米非農業部門雇用者数の報告が予想を上回る数値となったことによる、FRBの利下げ期待に関する急激なリプライシングであった。これにより、予想を上回るCPIコアインフレ率と相まって、先物市場の価格から2024年内のFRBによる25ベースポイントの利下げ、および2025年末までの先物カーブから70ベースポイントの利下げが排除された。オーストラリア国債利回りは米国債利回りに追随する形で上昇し、堅調な内容の新たなオーストラリア雇用報告書の発表も後押しとなり、RBA政策金利の25ベースポイント引下げを織り込んだマーケットプライシングは2025年2月から5月に先送りされた。オーストラリア3年国債利回りは月次レベルで2023年6月以来最も高い伸びを見せ、同10年国債利回りは2022年8月以来の最高値を記録した。
- 10月の豪ドルは、G10通貨バスケットでニュージーランドドルと日本円を上回るもっとも下落した通貨の1つとなった。10月後半に豪ドルは日本円に対して3カ月ぶりに上昇したのち下落したほか、当月で最も強いG10通貨となった米ドルに対しては12週間ぶりに下落した。
- オーストラリア株式市場も他の株式市場と同様に下落したが、これは数か月にわたり堅調に上昇してきた世界の株式市場において地政学的リスク、高い債券利回り、米国大統領選挙の不確実性からリスクアペタイトが低下したことによる。中国経済の見通しもASX200に関するさらなる懸念要因となった。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り		AGS スプレッド	
	2024年10月31日	2024年10月31日	2024年10月31日	2024年10月31日
2026年10月21日	4.21	(↑42 pt)	+15 pt	(↓1 pt)
2027年10月21日	4.23	(↑48 pt)	+20 pt	(↓3 pt)
2028年7月20日	4.30	(↑47 pt)	+26 pt	(↓5 pt)
2029年7月24日	4.43	(↑47 pt)	+36 pt	(↓3 pt)
2030年10月22日	4.60	(↑48 pt)	+37 pt	(↓2 pt)
2031年10月22日	4.76	(↑47 pt)	+45 pt	(↓6 pt)
2032年7月21日	4.85	(↑49 pt)	+49 pt	(↓3 pt)
2033年7月20日	4.92	(↑47 pt)	+50 pt	(↓3 pt)
2034年10月24日	5.11	(↑48 pt)	+62 pt	(↓4 pt)
2041年7月23日	5.45	(↑41 pt)	+63 pt	(↓1 pt)

